



Title	語文 第118輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2022, 118
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/95241">https://hdl.handle.net/11094/95241</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

二〇二二年四月段階では、コロナ禍の活動制限もようやく落ち着きつつあり、授業の多くが教室で行われています。留学生も入国可能となり、すっかり元通りではありませんが、キャンパスは二年ぶりに活気ある新年度を迎えていました。また、本研究室は、人文学研究科日本学専攻基盤日本学コース、日本文学・日本語史学講座として新たな一步を踏み出しております。

今輯は二〇二一年二月に逝去された宮地裕先生の追悼特集を組みました。お忙しい中ご執筆くださった先生方、誠にありがとうございました。先生方のご文章や、『日本語の研究』宮地裕・敦子先生古稀記念論集』（一九九五）を拝見するにつけても、学問の継承は、書かれたものでも可能であり、その良さもあるのですが、やはり人と人を通じてなされるものだということをあらためて強く感じております。

前輯百十六・百十七輯は金水敏先生・飯倉洋一先生退休記念特輯でしたので、この度は令和三年度・令和四年度二年分の国語国文学会の内容に基づき、渡邊先生と、蒲氏・伊藤氏・レック氏の論文を掲載いたしました。また、本年四月着任の市地先生からもご寄稿いただきました。新刊紹介につきましては、会員の皆様から一年余りの間に頂戴した新刊書が多数あり、十分ご紹介できなかつたことお詫びいたします。

本会を支えて下さつている皆様に感謝申し上げるとともに、ご健康を心よりお祈り申し上げます。

（岸本）

## 語文 第百十八輯

令和四年(二〇二二)年六月二十五日 印刷  
令和四年(二〇二二)年六月三十日 発行

編集者・  
発行者

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一一五  
大阪大学大学院人文学研究科

日本文学・日本語史学研究室

大阪大学国語国文学会  
代表 岡島昭浩

振替口座〇〇九四〇一四一四六四一  
電話 〇六一六八五〇一五一一

印 刷 能登印刷株式会社